

新潟県

# 公民館月報 8

平成9年8月号 通巻第534号

## 特集 環境学習 坂井輪地域学研究会の 「ごみ問題について」

視 点 使い捨てからリサイクルへ

ひ り ば 一筋分の一の町 荒川町と公連帯

実践記録 みなとは世界の交差点

サークル交流 いまいきARAIネットワーク（新井市）

加治川村委盆栽の会（加治川村）

素顔拝見 小野伸子（新発田市公民館）

向山正郎（佐和田町公民館）

表紙 尖閣湾  
（相川町公民館）

# 第48回新潟県公民館大会開催

## 東北の地では初めての村上大会 ふれあいの地からの提案 「学社融合」は公民館人の意識改革から

七月二十五日(金)第四十八回新潟県公民館大会が、新装なった村上市民ふれあいセンターを会場に、盛大に開催された。

東北の地では初めての大会開催でもあり、また、古い歴史を有する遺跡や城下町、そして白砂青松の日本海、出で湯の地である村上が会場のもあつて、参加者六百三十余名という多数の参加

者で、大盛況であつた。大会テーマ「生涯学習社会をめざした公民館の役割を考える」について、そしてサブテーマには「学社融合による魅力ある公民館活動を求めて」を設定し、シンポジウム方式により、経済界、ジャーナリスト、学校教育及び社会教育関係者から話題提供してもらい、参加者全員で考えようとする大会であつた。だが、終始熱気を帯びた討議が展開され、大変充実した大会とすることができた。

マ「生涯学習社会をめざした公民館の役割を考える」について、そしてサブテーマには「学社融合による魅力ある公民館活動を求めて」を設定し、シンポジウム方式により、経済界、ジャーナリスト、学校教育及び社会教育関係者から話題提供してもらい、参加者全員で考えようとする大会であつた。だが、終始熱気を帯びた討議が展開され、大変充実した大会とすることができた。

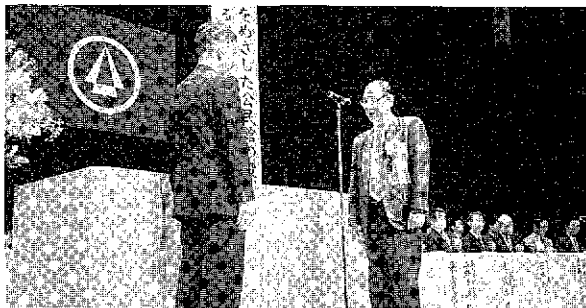
午前十時、定例どおり開会。佐藤富美子様(村上市社会教育指導員)のダイナミックかつ流暢な総会司会によって開会式の幕がきつて落とされた。

続いて来賓の祝辞に移り、新潟県公民館振興市町村長連盟会長近賀彦彦様(新発田市)の来賓祝辞、村上市長若林久徳様の歓迎の挨拶で開会式を終了。その後、二時間にわたるシンポジウムが繰り広げられたが、詳細は次号で紹介したい。

午後、記念講演では「酒造り談義」と題し、平田大六様より、体験に基づいたユニークでしかもユーモアあふれるお話がなされた。閉会式では、米年度主管公連を代表して、青海町公民館長渡辺紀一様からの挨拶でしめくられた。



共催者挨拶 平野清明名誉会長(県教育長)



受賞者代表謝辞 本間重蔵様

### 中越地区公民館職員等研修会 公民館研究集会のご案内

——十日町市公民館設置50周年記念事業——

全国の公民館が誕生して50年が経過します。この大きな節目に際して、これからの公民館の展望を開くために「いま、公民館の職員や委員は何をなすべきか」を考え合う中越地区公民館職員等研修会「公民館研究集会」を、計画いたしました。

十日町公民館も新憲法実施記念事業として、昭和22年11月1日に設立され、本年度50周年を迎えます。その記念事業としても本大会を実施いたします。広く、県下各地の公民館関係者のご参加もお待ちしております。

主催 中越地区公民館連絡協議会 十日町市公民館  
主 日 平成9年9月2日(火)午前9時30分～午後4時30分  
期 場 十日町市公民館 十日町市学校町1 ☎0257-57-5011  
会 日 午前9:30 開会

9:45 基調講演「公民館50年におもふこと」  
10:50 分科会 ① 公民館職員の職務  
② 新任職員の職務  
③ 非常勤館長の役割  
④ 公民館運営審議委員の役割

正 午 昼 食  
午後0:50 分科会  
3:00 パネル討議(登壇者=講師・分科会助言者)  
「これからの公民館の展望をひらくために」  
4:25 閉会

基調講演 講師 公民館史研究会代表 横山 宏 様  
助言者 第1分科会 国学院大学教授 堀 恒一郎 様  
第2分科会 日本体育大学助教授 上田 幸夫 様  
第3分科会 新潟県公民館連合会顧問 上村捨三郎 様  
第4分科会 新潟県社会教育協会副会長 桑原 昭三 様  
パネル討議コーディネーター 新潟県公民館連合会事務局長 鈴木 友夫 様

申込み 8月20日までに十日町市公民館へ  
〒948 十日町市学校町1 ☎ 0257-57 5011  
FAX 0257-57-5010  
参加費 1人 1,000円(昼食代含)当日受付で納入してください。

新潟県公民館振興市町村長連盟

定例総会終了

去る七月三日(木) 平成九年度新潟県公民館振興市町村長連盟総会が、新潟会館で開催された。出席者48名、来賓に県教育長代理(県生涯学習推進課長)田口重憲様、本会会長今井昭友様をお迎えして定刻どおり開会した。

議事は、平成八年度会務報告及び歳入歳出決算について、平成九年度重点目標並びに事業計画について発表していただいたが、大変好評であった。

画と歳入歳出予算案について、そして役員改選について提案され、原案どおり可決承認された。なお、昨年度総会后、近会長より「公民館の現況について」話題提供したらどうかという意向を受け、今総会では、新潟市東地区公民館長梶瑤子様より「通船川の再生化への取組みについて」発表していただいたが、



開会挨拶、近寅彦会長

視点

本年三月 竣工した角 出焼却場を見学した。 建築費262億、約四年かけた最新鋭の施設だった。コンピュータによる全自動制御、日量390tの処理能力、粗大ゴミ焼却炉、公害防止対策も万全、発電設



使い捨てからリサイクルへ

馬場道子

備による余熱利用もなされ、環境や省エネにも配慮された殿堂ともいえる施設は驚くばかりであったが、ここまでのしなればならぬ現状に深く考えさせられた。 容器包装リサイクル法が施行され、使い捨て文化からリサイクル文化へと踏み出した。行政、消費者、業者の役割分担も明確化されて

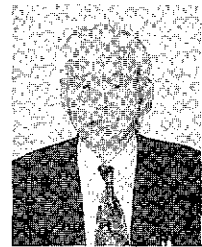
また、Mガラスリサイクルセンターを見学した。特有の臭気と騒音の中で、工員は黙々と手仕事でビンや缶の仕分けをし、圧縮し梱包していた。仕事とは

大量消費、大量廃棄のライフスタイルを徹底的に問い直すことだ。毎日のゴミの排出量を減らすとともに、資源化できるものの分別排出を積極的に実行することだ。

また、どんなに便利なものでも、環境に不適当なものは絶対に選択しない、といった明確な意志を消費者としてもちたいものだ。そして住みよい環境安全な環境を子供に残していきたい。(新潟県生活学校連絡協議会会長)

一万分の一の町 荒川町と公運審

佐藤和一郎



私たちが町名のおり、荒川と深い関わりの中で生活しています。

ひろば

新事業の発想や提言、また既存行動の見直しや廃止の英断などには、各層の代表によって構成されている公民館運営審議委員会の、存在意義があるように思っております。

国民の米の消費量が約千万t、その一万分の一の荒川町は千t、ところが減反しても六千t以上も取れる岩船米の産地であります。また戦前から球根を栽培し、現在はクロッカス日本一を誇る球根類の特産地になっていきます。昭和29年、同規模の保内村と金屋村が合併して町となり、32地区に分かれ、JR坂町駅付近が町の中心となっています。公民館は一つですが、地区の集会所が必要に応じて分館の役割を果たしてくれます。

### 一、坂井輪地区公民館の置かれていた地域概況

平成8年4月、国から中核都市の指定を受けた新潟市は、古くから「みなとまち」として栄え、自由で他人を温かく迎えられる市民性を培ってきました。近年では、国際高速交通網の拠点としての恵まれた条件を生かし、環日本海交流の推進役として、国内外の期待を集めています。

また新潟市は、信濃川、阿賀野川という二つの大河と日本海を望む自然に恵まれ、水の都としても親しまれ発展してきました。

# 学習 その2

## の「ごみ問題について」

### 館の取組み

研究大会第14分科会発表要項より

た。新潟市の人口約48万人、世帯数約18万世帯の中にあつて、当該の坂井輪地区は、昭和29年に西蒲原郡坂井輪村と新潟市が合併してできた地区で、昭和39年に発生した新潟地震以後、砂丘の松林や農耕地が住宅地として開発され、旧市内のドーナツ化現象の影響もあつて人口が急増し、現在約8万9千人、約3万2千世帯と市内随一の住宅地になっていますが、隣接地には

白鳥の飛来するラムサール条約登録地の砂丘湖・佐潟や海岸、保安林の松の緑が連なる自然環境の中にあります。

当坂井輪地区公民館は、坂井輪村が昭和29年新潟市合併後に、市役所坂井輪支所に併設され、昭和54年には市の出先機関(坂井輪地区センター)と共に鉄筋5階建の建物の中に併設され、今日に至っております。

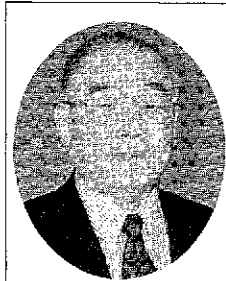
現在、定期利用団体も46団体の多くを抱える上、更に拡大する利用者のニーズに応えるため今年4月、同じく坂井輪地区内に完成した地上3階建、延べ面積三・八五〇平方メートルの西新潟市

民会館の中に、坂井輪地区公民館の分館、小針・青山公民館を開館しました。

### 二、大学連携事業「坂井輪地域学研究会」の取組みについて

#### (1) 趣旨

21世紀に向かって地域づくりをどのようにすればよいかを、地域環境、高齢化社会、家庭教育、地域福祉、保健衛生などについてシミュレーションし、地



## 「坂井輪地域学研究会」の運営と取組みについて

新潟市坂井輪地区公民館  
運営審議会委員 飯塚謙助

①新潟国際情報大学は、坂井輪地区(コミュニティ)の構成要素、人間関係の要素に關して基本的な講義を受け持ち、地域から上がってきた情報を基に将来を予測し、数値化、図式化する。

②地域は、大学の講義を受けて共通理解の上にたつて、地域の課題(問題点)について整理し情報提供をする。また、大学から示された資料を基に、今後懸念される問題点を研究し、明らかにし、広報やイベントを通して

加の呼びかけ方法などを検討。(5)平成8年度の学習テーマについて

経済社会の発展に伴い、大量生産、大量消費を基調とした経済規模の拡大や利便性を求める消費者ニーズの高まりを背景として、使い捨て商品のはんらんや耐久消費材サイクルの短縮化で、家庭や事業所から出るごみは近年量的に増大を続け、質的にも多様化している。今や地球規模で環境保全が叫ばれる中で、私たちに一番身近なごみの減量こそが急務であることから、新潟市が平成9年4月から開始したごみの6分別収集の区域内にある坂井輪地区の経験に基づき、環境問題に欠かさない「ごみ」を学習テーマに選んだ。

域住民が将来に臨み、現在どのような手だてをすればよいかを明らかにし、地域の教育的機能の向上と地域福祉の充実を図る実践の理論構築をしたい。

#### (2) 大学連携事業のねらい

公民館と大学が連携して事業を実施し、その中で地域住民が大学の指導を受けながら、大学との共同研究によって地域の課題(問題点)改善を図り、住民自らの手で住み心地の良い地域づくりの実践を目指す。

(3) 運営及び大学、地域、公民館の位置づけ(役割)について

て地域へ提言する。③公民館は、この事業を主催し、事業全体の方向付けを担当し、大学と地域の連携のために、事務局の立場に立つ。

#### (4) 大学連携事業、企画運営委員会

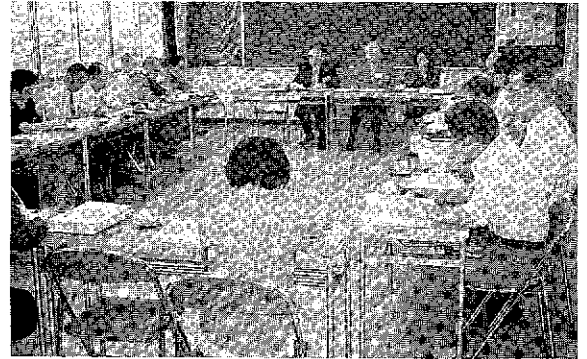
の発足 大学連携事業のプログラム作成のため、公民館運営審議会委員をはじめとし、新潟国際情報大学の教授陣、社会教育関係者、地域の自治会連絡会長、民生委員等で、平成9年6月に企画運営委員会を組織し、学習テーマ、学習課題、学習形態、研究会参

ごみをテーマとして選んだ以上、坂井輪地区全般から研究会のメンバーを募る必要があり、同地区の157自治会からごみの現場を預る自治会長や主婦の立場にある女性にも参加を要請し、約30名を4班に分けてそれぞれ座長、書記の係分担の上、班毎の学習目標を設定し、平成8年9月に学習を開始した。



# 特集 環境

## 坂井輪地域学研究会 新潟市坂井輪地区公民館 — 第38回関東甲信越静公民館



1班「資源回収を進めるため」に、2班「家庭ごみの減量対策」、3班「資源リサイクルの徹底及び6分別収集の徹底」、4班「ごみステーションの現状と6分別収集の効率的運用」

### 三、実施後の反省と評価

去る平成9年3月末に、各班の半年間にわたる学習目標毎の中問発表がなされた。各班とも大学側の専門的なアドバイスを受けながらの学習結果の発表で、その内容は今後のごみ問題解決の指針ともなり得る貴重な内容である。しかも公民館が主体となり、大学と連携して行っ

た事業は新潟県内でも例がなく、地域住民が参加して成し遂げた学習成果は、高く評価されるべきである。

### 四、今後の課題

公民館事業とし、地域学研究会を継続していく場合、学習内容によっては行政の理解と協力が不可欠であるとともに、学習課題の選択については、地域が抱えている問題を優先するのにか、一般社会問題も取り入れていくか、今後の課題としたい。



## ◆坂井輪地域学研究会取組みの経緯

- ☆平・8・9・27
  - 第1回坂井輪地域学研究会
  - ・会の発足——研究会のガイダンス——
  - ・「坂井輪地域学研究会」について趣旨説明——公民館——
  - ・「大学と地域連携について」大学の基本的な態度の表明——新潟国際情報大学地域交流委員会——
  - ・講義「新潟市のごみの現状と課題」——坂井輪地区の現状と問題、6分別収集とごみの減量——講師 新潟市清掃課長
  - ☆平・8・10・8
    - 新潟市廃棄物処理施設の視察
    - ・赤塚埋立地「資源再生センター」(エコープラザ)
    - ☆平・8・10・11
      - 第2回坂井輪地域学研究会
      - ・講義「研究活動の手順について」講師 国際情報大学
      - ・受講後4班に分かれてそれぞれ研究活動
      - ・研究活動の絞り込み
      - ・研究活動(話し合い)
      - ☆平・8・10・11・14
        - 各班毎で研究活動を開始
        - ・各班毎研究テーマを設けて研究活動
        - ☆平・8・11・15
          - 第3回坂井輪地域学研究会
          - ・各班の研究報告
- ☆平・8・11・26
  - 新潟プラスチック油化センター見学
  - ・廃プラスチックのリサイクルシステム確立のため新潟市が民間会社に委託して施設を建設
  - ☆平・8・12・11
    - 各班毎の研究の中間のまとめを事務局へ提出
    - ・中間のまとめを大学へファックスで送付し、事前の検討を願う。
    - 第6回連携事業企画委員会
    - ・企画委員会を解散し、「企画運営委員会」を設置する。
    - ☆平・8・12・13
      - 第4回坂井輪地域学研究会
      - ・各班毎の研究のまとめを中間発表
      - ・大学側からの評価と助言
      - ☆平・9・1・21
        - 第1回企画運営委員会
        - ・企画運営委員会の代表と構成メンバーについて
        - ・2月の報告会の運営について
        - ・ア報告会までの事業運営について
        - ・大学の指導内容について
        - ・発表会の運営について
        - ・発表形態、持ち時間等
- ☆平・9・2・12
  - 第2回企画運営委員会
  - ・大学との打合せ報告及び今後の運営について
  - ☆平・9・2・21
    - 第5回坂井輪地域学研究会
    - ・報告会(4つのテーマの研究成果を1つに絞り込むこと)
    - ☆平・9・3・6
      - 第3回企画運営委員会
      - ・今後の日程について
      - ☆平・9・3・10
        - 合同会議(企画委員と班長)
        - ・住民・行政・事業者に周知させることについての検討
        - ☆平・9・3・26
          - 第6回坂井輪地域学研究会
          - ・中間報告(案)「私たちがごみ問題を考えよう」発表
          - ・大学の評価と助言

### ◆発展、関連

関プロ大司会担当の吉田英延様が、月刊公民館8月号紙上で「住み心地よい地域づくりのために」と題して坂井輪地域学の実践事例を掲載発表され、また、同大会助言担当の佐藤貞正様が、10月開催の全国生涯学習フェスティバル小出圏事業のパネルフォーラム「地域課題学習の必要性」地域学について実践提案される予定。

・3月中のとりまとめと今後の運営について

# 実践記録シリズ(18)

## 生涯大学システム、モデル広域学習圏事業(2)

### 「みなとは世界の交差点」

—— みなと未来塾実行委員会 ——  
(豊栄市・聖籠町教育委員会)

前回に引き続き、下越・社教課長さんの推薦による平成八年度広域学習圏事業「みなと未来塾」を紹介してみたい。

手元に届けられた報告書の中から抜粋してみると

○事業の目的を、両市町共通のテーマである海、港、フルーツに設定したこと

○事業内容も、PART1に海&港に関連した講義が並び、またPART2では、国際交流&フルーツをテーマにして地元産食文化や触れ合いトークを

とおして人との交流を図り、自然で心地よい響きをもった国際交流がなされている。

下記の事業終了後のアンケートによれば、今後の開催も強く要望されているようなので、来年度は、ぜひ特集で紹介したいものである。(月報編集部)



### モデル広域学習圏事業『みなと未来塾』実施要項

◇事業の目的  
“海” “港” “国際交流” “フルーツ” という両市町の共通のテーマによる講座を開設し、事業連携のあり方を探る。

◇内 容  
○PART 1  
テーマ “海” & “港”  
会 場 にいがたポートセンター3F会議室 聖籠町東港4丁目790-2  
参加費 1人1,300円(保険料込み)  
塾日程 原則として、いずれも土曜日の午後1時30分から3時30分まで。ただし、開塾日は30分程度の時間延長を予定しています。

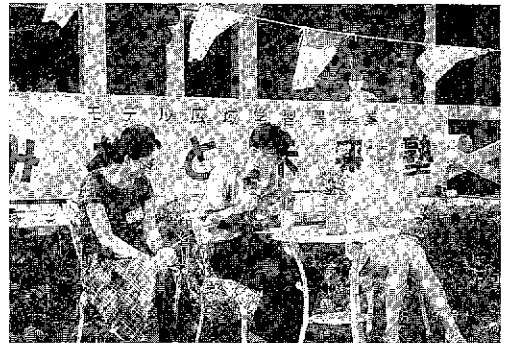
開塾日	内容及び講師
7月20日	砂丘の牛立ちを探る『日本海と砂丘』 講師：新潟古砂丘グループ会員 木村 澄枝氏
7月27日	新潟の天気について考える『日本海と気象』 講師：財団法人日本気象協会新潟センター調査課長 竹内 義治氏
8月3日	海から陸を見つめてみよう『新潟東港見学』と『港の現状』 講師：にいがたポートセンター職員 小杉 達雄氏
8月10日	北海道との深いきずな「新潟と北海道とのつながり」 講師：日本民具学会評議員 赤羽 正春氏
8月17日	環日本海時代の中の東港の可能性『新潟東港の未来』 講師：財団法人新潟経済社会リサーチセンター理事 原 敏明氏

○PART 2  
テーマ “国際交流” & “フルーツ”  
会 場 自然体験農園 どんご塾 聖籠町大夫興野2809-3  
参加費 大人1,000円・小人500円  
塾日程 8月31日 午前10時から午後3時まで  
内 容 ①みんな友達・ワールドゲーム  
②世界の料理を満喫・ジャムパーティ  
③心は世界一周・ふれあいトーク

◎ふれあいトーク参加外国人の皆さん

お 国	氏 名	性別	備 考
ロシア	エンナ・カリニーナ	女性	新潟コツア村勤務 息子さんも参加6歳
オーストラリア	イアン・ベグラム	男性	
中華人民共和国	徐 送迎	女性	娘さんも参加6歳

◇塾生の定員  
○PART 1・PART 2とも定員は50人です。



### ◇広域事業実施についての受講者の考え

- (アンケートによる)
- 1・今後も開催してほしい26人の関連等
  - 2 民俗関係、地域の歴史関係
  - 3 百万都市への広域合併の展望
  - 4 地域社会に関するもの
  - 5 川と潟、地主と小作農
  - 6 福祉、ごみ、教育、環境問題
  - 7 両市町の港に共通する催しについて時期を見ながら実施
  - 8 東港の各埠頭の完成年度及び最大船舶重量トンと取扱い品目等を知りたい。
  - 9 広域市町村圏の将来像
  - 10 両市町の特産物や共同事業を実施しているもの
  - 11 東港工業地帯に進出している企業の実態と見学
  - 12 経済的側面から位置付けて企画を組んでほしい
- (主なものだけ抜粋)
- 2・単独の市町で開催 2人  
3・その他 4人  
以上 1人

# サークル交流

女性が元気でです。

いきいきARRA  
ネットワーク

自分自身を高めながら、楽しくまちづくりを考えようと、平成六年から活動しています。会員は六十五人。男性は十数人でほとんどが賛助会員、という女性を中心のサークルです。

活動は、「たまには着飾っておいしいものを食べようよ」と、開いているコスチュームパーティー、国際家族年に神津善行、中村メイコ、神津カンナファミリーの三人を招いてトーク



ショーとして、千人のホールを埋めた講演会、さまざまな学習会、男の料理教室(年六回)、フリーマーケット(年二回)、子育てレストラ(市の委託事業)などの開催のほか、情報紙の発行も行っています。

この会は、もともと市が平成四年に文部省の女性の社会参加支援推進事業の指定を受け、そのときに発足した企画委員会がきっかけで誕生しました。それだけに女性の不満解消や、男女共同参画型社会を目指した活動にも積極的に取り組む、市民への影響力も年々高まっています。

(代表 松本美鈴記)  
(写真 男の料理教室)  
サクラ切る××?

## 加治川村桜盆栽の会

国指定の大峰山の桜や加治川堤の桜を、自宅の「庭」ではなくて「床の間」で愛でたい！

—なお、つけ加えるなら、ヤレ盗伐だなどと世間様の非難を浴びることなく、堂々と自慢できる形で—

平成4年にそんな密かな願望を持つ人を募集し、会が発足しました。



現在会員20名。月一回の割合で中川地区公民館で勉強会を続けています。

「苗作り」から、「挿し木」「取り木」「接ぎ木」等々に挑戦して早5年。今では各自が苦心を重ね作り育てた「桜盆栽」を持ち寄り、それぞれの作品を教材に技術の研鑽を高めています。

今年の3月下旬には、ピンク、白、紅色とかわいらし花を身にまとった鉢植えの桜百鉢近くを一堂に飾り、ようやく村民のみなさんに見えていただくことができました。

桜の里づくりの一助にもと、桜切る盆栽人は、今年も丹精込めてハサミを入れています。

(加治川村桜盆栽の会 代表 菊池 徳二記)

## 新発田市公民館

主任 小野伸子 様

次のヒントから、この人物の性格を想像してみてください。

〈ヒント1〉 ソフトテニスの腕前は超一流。インターハイ・国体にも出場経験あり。

〈ヒント2〉 数字に滅法強く、公民館使用料から飲み会の割勘計算まで、迅速かつ正確。

〈ヒント3〉 ユーモアのセンス抜群で、



この方の居る所、いつも笑い声が絶えない。

〈ヒント4〉 カラオケが上手で、最新ヒット曲を安室奈美恵も真つ青な歌唱力で歌いこなす。

〈ヒント5〉 すぐくおしゃれで、三六五日のうち一日として、同じ服装で来ることがない。どんな人か、わかりましたか？

本年度は、二地区を担当し、様々な方面で大車輪のご活躍。その上、気はやさしくて、美しいとすれば、職員はもとより利用者の方さんからも信頼度No.1です。「伸子さん〆月〆これからもうよろしくネ〜」

(新発田市公民館 山口恵子記)

## 素顔 拝見

### 佐和田町公民館

主事 向山正則 様

身長一七五センチ、体重七〇キロ、性格は真面目で無口。嫌いなものは虫(大きな体をしていて小さなクモに飛び上がる)

趣味は釣りらしいが、今まで大物を釣ったという話は聞いたことがない。また体育系の大学を出ただけあり、運動神経は抜群。これが彼のプロフィールである。

今年建設課からの異動で数カ月過ぎましたが、彼なりの若さと無口さと行動力で一生懸命公民館の雰囲気になじもうと努力



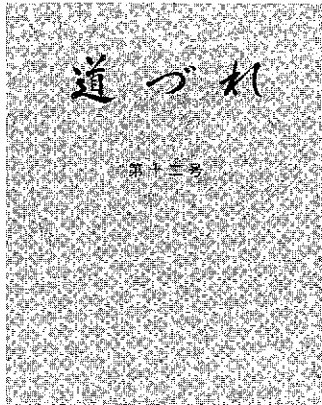
しています。これから佐和田町の社会体育の星として子供からお年寄りまでスポーツの指導にあたり、各種事業の中心となり働いてくれることと期待しています。

(佐和田町公民館

高野イツ子 記)



図書紹介



道づれ 第十二号

主 炎 大  
の の の  
会 会 会  
刷 印 刷

八月という視点で本書を読ませていただいたが、圭の会坂田総司さんの、人間味豊かで部下思い、戦艦武蔵と運命を共にした田結保、中尉のエピソードを描いた「鎮魂」、同会星野理絵さんの、終戦時、旧満州開拓団での極限状況の逃避行体験を描いた「八月の長い夜」がとても強く印象に残った。

なお、公民館の大先達、松本十三雄さんが八月という視点で本書の編集等の助言をなされ、また九十二年の生涯を通じ医家として、文化活動の推進役等多岐にわたるリーダーとして見附市民に影響を残された金井朋中先生の口述記録、「朋中先生の俳句論」等についても執筆されている。

平成8年7月 日本の渚百選に選ばれた「尖閣湾」。ノルウェーのハルダンゲル峡湾を直訳して名付けられた。  
(相川町公民館)

恵贈歌集紹介

「やまなみ」六月号

発行人 横尾 浩



「やまなみ」六月号が予定どおり県公連事務局に配達されました。継続は正に短歌なり、を実証するように、会員の短歌に対する意識・愛着は極めて高いものがあります。

半紙袋とじながら、会員の投稿句がびっしり掲載されていて寸評もある充実した、しかも素



朴な歌集となっています。  
・B5判 11頁  
・連絡先 東頸城郡牧村公民館  
内(電) 〇二五五-三三一五一  
三〇) やまなみ短歌会

全国生涯学習フェスティバル小出郷地域圏事業  
平成9年度新潟県生涯学習振興大会  
(兼魚沼地域おこし大学) 第1次案内

- 1 期 日 平成9年10月9日(木) 午後1:00~4:40
- 2 会 場 小出郷文化会館ホール (電) 02579-2-2777 FAX 02579-2-6776
- 3 主 催 新潟県教育委員会  
社団法人新潟県社会教育協会  
第9回全国生涯学習フェスティバル小出郷地域圏実行委員会
- 4 後 援 新潟県市町村教育委員会連合会 新潟県社会教育委員連絡協議会  
新潟県公民館連合会 新潟県社会教育主事連絡協議会 県内各報道機関

5 趣 旨  
近年、高齢化・少子化・過疎化等社会の急激な変化の中で、地方自治体はその対応に迫られている。こうした中で地域づくりの施策を推進するためには、地域住民の理解と協力、英知の結集が不可欠である。その意味から、地域づくりを学習内容とする広域的な生涯学習事業として「魚沼地域おこし大学」を開学することとした。

- 6 事業内容
  - I 「魚沼地域おこし大学」開会式
  - II オリエンテーション(本集会の意義と方向付け)
  - III 地方自治と生涯学習フォーラム(第1回講座)  
テーマ 「地域課題学習の可能性とその方法を探る」  
~モデル事例を中心に徹底追求・徹底討論3時間~

- 1 モデル事例発表  
「村おこし守門大学」村おこし守門大学 学長(村長)野村学  
パネルフォーラム
- 2 「地域課題学習の可能性とその方法を探る」
  - ・アドバイザー (敬称略)  
日本生涯教育学会前会長、川村学園女子大学教授 岡本 包治  
新潟県生涯学習審議会会長、新潟大学教授 齊藤 勉  
新潟日报社 論説委員長 吉田 紀
  - ・パネラー  
新潟県公民館連合会 前事務局長 上村拾二郎  
新潟市坂井輪地区公民館 地域学研究会 佐藤 貞正  
安塚町教育委員会 公民館長 春日サコ子  
高柳町役場 ふるさと振興課長 春日 俊雄  
山北町教育委員会 社会教育主事 本間 清
  - ・コーディネーター  
社団法人新潟県社会教育協会 副会長 桑原 昭三

IV 閉会式  
7 参加申込み  
平成9年9月3日(水)までに市町村教育委員会へ

あとがき

◇県大会も無事終了、ほっと一息つく間もなく関プロ大会、全国大会の対応に入っておりませう。それにしても、村上大会での鈴木敏夫実行委員長さんの

リーダーシップ及びバイタリティーには驚き入りました。そしてチームワークよろしく成功に導いていただいた村岩公連の方々に感謝申し上げます。(鈴木記)

表紙解説

「尖閣湾」

平成8年7月 日本の渚百選に選ばれた「尖閣湾」。ノルウェーのハルダンゲル峡湾を直訳して名付けられた。

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局長 鈴木友夫  
【定価1部150円 年共1,800円】